

年末年始期間における国際線旅客数は7%増で過去最高の見込み

—混雑が予想されますので、公共交通機関の利用と時間に余裕をもったの来港をお願いします—

2016年12月22日(木)から1月3日(火)の年末年始期間中(13日間)の関西国際空港国際線旅客数予想についてお知らせします。

本期間中の国際線旅客数は702,200人を見込んでおり、1日平均では54,000人(前年比+7%)となっております。こちらは年末年始期間として過去最高となる見込みです。(これまでの年末年始期間最高は2015年度の1日平均50,290人)

出発旅客数は369,300人(前年比+9%)、到着旅客数は332,900人(前年比+6%)を見込んでおり、出発方面は韓国、中国、台湾がトップ3となっております。

年末年始期間中は、主に午前中・夕刻において保安検査場などの混雑が予想されます。時間に余裕を持って、お早めに空港へお越しください。また、期間中駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

<2016-2017 年末年始(2016年12月22日(木)～2017年1月3日(火)) 期間中旅客数>

	期間中旅客数	1日平均	前年比*
出発	369,000	28,400	+9%
到着	332,900	25,600	+6%
合計	702,200	54,000	+7%

*前年期間は2015年12月22日(火)～2016年1月3日(日)

<出到着ピーク日>

	出発	到着
第1ピーク	2016年12月29日(木)	2017年1月3日(火)
第2ピーク	2016年12月30日(金)	2017年1月2日(月)
第3ピーク	2016年12月28日(水)	2016年12月29日(木)

<出発方面人気予想>

	2016-2017	前年(2015-2016)
第1位	韓国	韓国
第2位	中国	中国
第3位	台湾	台湾

(参考) 2016-2017 年末年始期間日別旅客数予想

2016-2017 年末年始期間 旅客数予想 (13日間)				
		出発	到着	合計
12月22日	木	26,800	23,400	50,200
12月23日	金	29,200	25,400	54,600
12月24日	土	24,200	25,900	50,100
12月25日	日	25,800	26,100	51,900
12月26日	月	25,600	23,700	49,300
12月27日	火	28,600	22,800	51,400
12月28日	水	△ 30,100	26,200	56,300
12月29日	木	◎ 33,400	△ 26,900	◎ 60,300
12月30日	金	○ 31,000	26,200	△ 57,200
12月31日	土	27,900	24,400	52,300
1月1日	日	28,000	23,900	51,900
1月2日	月	29,300	○ 27,500	56,800
1月3日	火	29,400	◎ 30,500	○ 59,900
合計		369,300	332,900	702,200
1日平均		28,400	25,600	54,000

<参考> 前年旅客数実績* (13日間)				
		出発	到着	合計
12月22日	火	22,650	20,850	43,500
12月23日	水	24,070	24,230	48,300
12月24日	木	23,580	25,570	49,150
12月25日	金	25,670	24,090	49,760
12月26日	土	27,400	23,390	50,790
12月27日	日	○ 29,870	24,140	○ 54,010
12月28日	月	26,370	20,730	47,100
12月29日	火	◎ 29,960	22,880	△ 52,840
12月30日	水	27,020	24,580	51,600
12月31日	木	25,300	△ 25,930	51,230
1月1日	金	21,560	22,770	44,330
1月2日	土	25,770	○ 26,210	51,980
1月3日	日	○ 29,870	◎ 29,340	◎ 59,210
合計		339,090	314,710	653,800
1日平均		26,080	24,210	50,290

◎ = 第1ピーク ○ = 第2ピーク △ = 第3ピーク

*前年実績は大阪入国管理局発表値

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
 Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



ヴァンシ・エアポートは、国際空港運営における世界上位5社のうちの1社として、フランスで13、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計35空港の開発および運営を行っています。ヴァンシ・エアポートは、運営する空港ネットワークの年間利用者数は1.3億人にのぼり、170社を超える航空会社が就航しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナルリズムあふれる世界各国の10,600名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を活かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レノゴ株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構